



<もっと脂肪乳剤を使って効率のよい栄養補給を！>

～当院における脂肪乳剤の使用状況～

脂肪は効率の良いエネルギー源であり、必須脂肪酸補給のためにも必要な栄養素ですが、わが国では欧州に比べて静脈栄養における脂肪乳剤の投与に消極的です。そこで、当院におけるTPN施行患者様に対する脂肪乳剤の投与状況を調査してみました。

調査期間：平成16年7月1日～31日、対象：TPNを施行された延べ172人の患者様

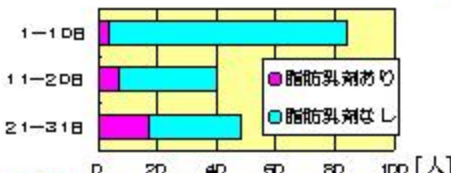
- ・診療支援システムを用いて、脂肪乳剤の投与頻度や投与状況を調査
- ・TPN施行期間を10日毎に区分し、脂肪乳剤投与状況を調査
- ・TPN施行21日以上の患者様について経腸栄養(EN)や経口摂取を含めた脂肪摂取状況調査

- ・TPN施行21日以上で食事・ENがない患者様について、脂肪乳剤投与群と非投与群に分け、抗菌薬の使用状況や栄養状態を反映するTP、Ab（最大値の平均と最小値の平均）を比較

<脂肪乳剤投与人数> TPN施行172人中28人に脂肪乳剤投与

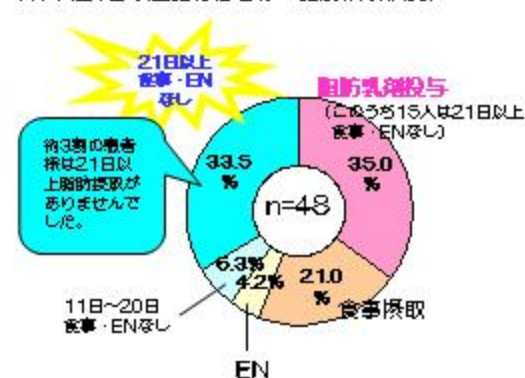
投与頻度
週1回：6% 週2回47%
週3回：19% 毎日：28%

<TPN施行期間別脂肪乳剤投与割合>



※ 敗血症、重篤な肝機能障害などの際には脂肪乳剤は禁忌とされています。脂肪乳剤の適量を守ってうまく使いましょう。

<TPN21日以上施行患者様の脂肪摂取状況>



※ 前3割の患者様は21日以上脂肪摂取がありませんでした。

<21日以上食事・ENなし患者様における脂肪乳剤投与群と非投与群の比較> (手術実施の患者は除く)

	非投与群(12人)	投与群(11人)
TP _{max}	6.4 g/dL	7.2 g/dL
TP _{min}	5.6 g/dL	6.4 g/dL
Alb _{max}	3.2 g/dL	3.9 g/dL
Alb _{min}	2.7 g/dL	3.6 g/dL
抗菌薬 H	2人	7人
平均使用抗菌薬数	1.6剤	0.4剤
抗菌薬平均投与日数	9.6日	1.9日

脂肪乳剤を投与した患者様のほうが、栄養状態良好で抗菌薬の使用が少ないという結果になっていました。



第20回日本静脈経腸栄養学会発表 (文責：薬剤部 吉中 千佳)



「栄養療法がなかなか始められない事もありますね・・・」

(症例) 76歳 男性
(依頼内容) 慢性心不全手術後食欲減退し低栄養状態であるため、栄養状態改善の依頼あり
(経過) 手術後一時食事をしていたが、依頼時には肺炎のため絶食状態にあった。NSTは、身体計測等アセスメントにて必要栄養量を算定。栄養投与ルートとメニューの検討を行い、静脈栄養のメニューを検討。リハ科への嚥下内視鏡検査の後、静脈から栄養を確保しながら、リハ科による嚥下機能訓練が開始された。同時に食形態の検討を行ったが、再度肺炎を起し絶食になったため、早期に経口で必要栄養量を摂取することは無理であるとの判断で胃瘻が造設された。その後、GFO投与とTPNにて経過をみていたが下痢が出現し、その後発熱。経腸栄養を開始するにはいけなかった難しい症例であった。結局、NST依頼より約2ヶ月で急性腎不全と肺炎のため亡くなった。

NSTとしての関与の方法、種々の栄養療法開始のタイミングが早く出来れば、予後も変わっていたのではと反省させられる結果となった。

(文責：NST)



Congratulations !

大変希少です。

TNTCプログラムによる「栄養療法実施のための症例検討」全6編コース。

9月28日に6編が終了し、全6編受講者は16名いらっしゃいました。当日は、修了証書をお渡しし、後日NSTバッジを配布する予定です。

終了された方々は、下記のとおりです。(敬称略)

浅水優子、岩崎美子、遠藤優子、遠藤高理、小原るみ、小野幸恵、斎藤則子、菅原亜紀

鈴木美由紀、栗野あず子、高橋千登、高岡木裕登、阪田みづい、藤島真美子、本田正子、元井優子

お急ぎください。NSTバッジの配布は、12月半予定しております。しつとお待ち下さい。

